

事前評価個表

整理番号	12
------	----

地域（地区）名	<small>しりべしいぶり</small> 後志胆振地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	島牧村ほか16市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>後志胆振森林計画区は、北海道の中央から南西部に位置し、後志総合振興局管内中南部と胆振総合振興局管内西部を区域とする。</p> <p>東部には鷲別岳、オロフレ山、ホロホロ山が南北に並び、無意根山から積丹半島の脊梁を境に、南部は内浦湾から狩場山を境に日本海に面する。</p> <p>本計画区の総面積440,343haのうち、森林面積は323,518ha（森林率73%）で、そのうち民有林面積は193,719ha（全体の60%）となっており、そのうちカラマツ及びトドマツを主体とした人工林の面積は45,765ha（人工林率24%）となっている。</p> <p>本計画区の森林は、林地分譲地などに見られる森林経営を第一目的としない道外の不在村森林所有者による無立木地が多く見られ、また、林業採算性の悪化などによる森林整備に対する意欲の低下と森林整備への投資控えなどから手入れ不足の森林が増える恐れがある。</p> <p>このため、後志胆振地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路面整備を推進する必要がある。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：30,174 ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：6,586,620千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.61 (総便益(B) = 71,511,460千円、総費用(C) = 12,738,049千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の既存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保に加え、将来の優良材の安定的な生産の上で有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も十分に認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 後志胆振

北海道
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	14,260,394	
	流域貯水便益	7,674,755	
	水質浄化便益	13,102,308	
山地保全便益	土砂流出防止便益	30,026,279	
環境保全便益	炭素固定便益	4,123,372	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	2,324,352	
総 便 益 (B)		71,511,460	
総 費 用 (C)		12,738,049	
費用便益比	$B \div C = \frac{71,511,460}{12,738,049} = 5.61$		

